

事務事業名	みくに龍翔館管理運営事業			事業コード	10050805121
所管部署	みくに龍翔館	電話	82-5666	記入者名	釣部 由紀子
事業対象	坂井市民、坂井市内外の利用者及び坂井市を訪れる観光客				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	社会教育法、博物館法、博物館法施行令、文化振興基本法			
根拠例規	有	坂井市みくに龍翔館条例、坂井市みくに龍翔館施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			
事業の概要	坂井市の博物館として資料の収集・保存・研究・展示を行うことで、市の貴重な文化遺産を次世代へと大切に守り伝えていきます。また、開館30年以上を経た施設及び展示のリニューアル事業に着手し、より充実した博物館づくりを進めます。				
	毎週水曜日と年末年始を除き、午前9時から午後5時まで開館。入館料大人300円、小人150円を徴収しました。施設の管理とともに、合併により対象が広がった地域資料の収集・保存・調査研究・公開を実施します。				
事業の目的・事業の概要等	◆施設管理 修繕料534,141円、需用費（修繕料・紀要印刷費以外）5,909,773円、役務費620,566円、委託料（燻蒸以外）7,814,525円、備品38,691円、使用料及び賃借料613,954円、その他負担金等27,020円				
	◆企画展（収蔵資料の展示）及び特別展 ・春の企画展「没後50年記念 高見順という作家」4/25～5/31 入場者1,924人 ・夏企画展「海女の手仕事 三国の刺子」7/23～8/31 入場者1,718人 ・特別展「三国漢の豪商 内田家」10/31～11/29 入館者1,685人 監修謝礼63,240円、調査旅費39,470円、消耗品56,484円、パネル印刷172,260円、音声デジタル化手数料6,480円				
	◆郷土史研究講座 ・「幕末維新期の福井藩と内田家—三国港の豪商 内田惣右衛門—」（10/25）講師 本川幹男氏 聴講者83人（定員70）＊特別展開連講座 ・「継体天皇と三尾氏・三国氏—振姫墓をめぐって—」（3/19）講師 堀大介氏 聴講者75人（定員70） 報償費34,900円（旅費含）				
	◆資料の収集及び整理・目録作成 資料整理：内田璞家文書7,541点（寄託）整理・資料目録（A4判250頁）の発行 報償費416,460円（旅費含）、目録印刷631,000円 資料受入：資料本多敏子家文書（寄贈）運搬・保険・旅費708,642円、海事関係資料マイクロフィルム（購入）112,860円 他70件（1,117点）				
	◆資料保存 みくに龍翔館新収蔵資料テント燻蒸194,400円				
	◆リニューアル検討委員会 第1回委員会1/14開催 報償費76,980円（旅費含）				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	坂井市の博物館として市全体の資料収集・調査・研究を実施していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	内田家文書約7,500点の受け入れ整理作業を実施。さらに講演会及び特別展の開催と目録の発行を行い、貴重な歴史遺産の公開活用に役立てました。その他、多くの資料を受け入れ、整理中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴う施設改修や常設展示替えを含めた改修計画に着手します。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	みくに龍翔館リニューアル検討委員会を立ち上げ、第1回委員会を開催。リニューアル事業に着手しました。平成28年度は、エレベーター設備改修を実施し、リニューアル基本構想をまとめていきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
コスト	事業費	報酬	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	8,009	15,630						
			需用費	7,378	8,891						
			役務費	1,293	1,472						
			その他	1,709	2,222						
			事業費合計	18,389	28,215						
	人件費	正職員	2.30	16,351	2.60	18,273					
		臨時職員	1.80	3,694	1.80	4,545					
		人件費合計	4.10	20,045	4.40	22,818					
		総事業費		38,434		51,033					
		事業費	特定財源	国県支出金			1,430				
			使用料・手数料	3,167	3,520						
			分担金・負担金								
地方債											
その他	409		73								
一般財源	34,858		46,010								
財源合計	38,434	51,033									

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	リニューアル検討委員会の協議を尊重し、市全体の資料収集・調整・研究を実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	エレベーターの改修の設備修繕を計画的に実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行える改善提案	坂井市の博物館として市全体の資料収集・調査・研究を実施していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	リニューアル検討委員会の協議に基づいて施設改修や常設展示替えを含めた改修計画を進めます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
成果	みくに龍翔館入館料	円	目標値	3519540	達成率 3805000	達成率 5385000	達成率 4176930	
			実績値	3166950	89.98	3519540	92.5	3709350
成果	みくに龍翔館入館者数	人	目標値	14810	達成率 13550	達成率 16150	達成率 18854	
			実績値	13703	92.53	14810	109.3	13778
活動	みくに龍翔館郷土史研究講座参加者数	人	目標値	210	達成率 210	達成率 70	達成率 40	
			実績値	158	75.24	198	94.29	70
活動	新収蔵資料整理数（目録作成数）	点	目標値	10000	達成率 5000	達成率 200	達成率 200	
			実績値	7667	76.67	2450	49	192
活動	リニューアル検討委員会開催数	回	目標値	1	達成率	達成率	達成率	
			実績値	1	100	---		
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

